お使いになる前に

準　備

CDを聞く

カセット
テープを聞く

AM
FM
ラジオを聞く

きき楽機能

いろいろな機能

録音する

こまったときには

付　録

CDポータブルシステム

型名 RC-BF10-W/H

取扱説明書

ゆっくり!はっきり!
聞き取りやすい!

お買い上げありがとうございます

⚠ ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に3〜5ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT1245-001B

もくじ

お使いになる前に

準　備

いろいろな機能

録音する

こまったときには

付　録

安全上のご注意 −はじめにお読みください−

ご使用になる方や他の人々への危害や損害を防ぐために、必ずお守りいただきたいことを説明しています。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと人が死亡、または重傷を負う可能性がある内容です。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと人が傷害を負う、または物的損害が生じる可能性がある内容です。

絵表示について

注意・警告が必要な事項
（図中に具体的な注意内容）

禁止されている事項
（図中に具体的な禁止内容）

実行して頂きたい事項
（図中に具体的な実行内容）

万が一こんな時は

▼

- ●煙が出たり異臭がするとき
- ●落下などにより壊れたとき
- ●内部に水や異物が入ったとき

そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

電源スイッチを「切」にする／電源プラグを抜く

▼

販売店に修理を依頼してください

⚠警告

■電源コードを傷つけない。

加工したり、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、熱器具に近づけるなどしないでください。

■表示された電源電圧（交流100ボルトまたは直流9ボルト）で使用する。

表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

接触禁止

■雷が鳴り出したら、アンテナや電源プラグに触れない。

感電の原因になります。

■風呂場やシャワー室では使用しない。

火災や感電の原因になります。

分解禁止

■分解や改造をしない。

火災や感電の原因になります。
この製品はクラス1レーザ製品です。
内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

安全上のご注意（つづき）

⚠警告

■本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。

■本機の上に水などの入った容器や重いものを置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などの水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む。

発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因になります。

■電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間にゴミやホコリがたまると火災の原因になります。定期的に電源プラグを抜き、ゴミやホコリを乾いた布で取ってください。

⚠注意

■電源プラグはコードの部分を持って抜かない。

コードの損傷による火災や感電の原因になります。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。

■通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のことに注意してください。

●あお向けや逆さまにしない
●本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
●テーブルクロスを掛けない
●じゅうたんや布団の上に置かない
●設置するときは、壁などから10cm以上離す

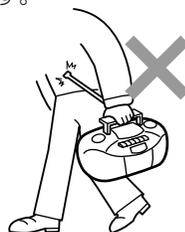
■移動するときは、電源プラグを抜く。

コードの損傷による火災ややけどの原因になります。

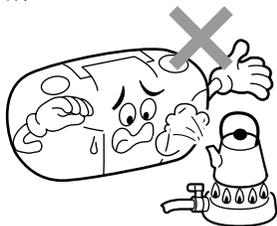
■長期間使用しないときや、お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

●感電の原因になります。
●電源スイッチが「切」でも本機には電気が流れています。

■移動するときは、アンテナをたたむ。

けがの原因になります。

⚠注意

■次のような場所には置かない。

●湿気やほこりの多い所
●暖房器具の近くや直射日光の当たる所などの高温になる所
●調理台や加湿器のそばなど、煙や湯気が当たる所

■はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。

■イヤホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。

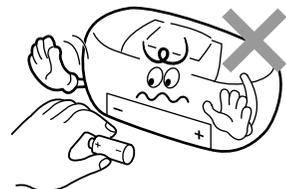
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力障害を起こすことがあります。

■3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

■電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災･けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

●指定以外の電池を使用しない
●電池を加熱・分解しない
●火や水の中に入れない
●乾電池は充電しない
●電池のプラス⊕とマイナス⊖を間違えない、ショートさせない

●一度使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使用しない
●長期間使わないときは、電池を取り出しておく
●交流100ボルト電源で使うときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよくふきとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意

■本機やカセットテープ、CDの置き場所について

故障などを防止するため、次の場所は避けてください。

- 湿気やほこりの多い所
- 直射日光が当たる場所や暖房機のそば
- アンプやテレビのすぐそば
- 不安定な所
- 極端に寒い所
- 磁気を発する所
- 振動の激しい所
- OA機器やけい光灯のすぐそば
- 寒い所から暖かい部屋へ移動したのちしばらくの間

■露がついたら

次の場合、本機のレンズに露（水滴）が付いて、CDが正しく演奏できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

電源を入れたまま、約1～2時間待ってからお使いください。

■ヘッドホンについて

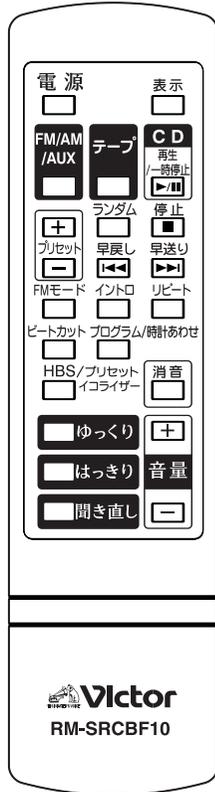
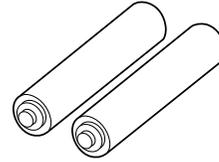
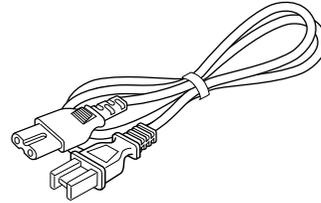
ヘッドホンをご使用になるときは耳を刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。

■ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなど、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットシンボルです。

付属品の確認

お使いになる前に、付属品をお確かめください。

リモコン
RM-SRCBF10（1個）

単4形乾電池（2本）
（リモコン動作確認用）

電源コード（1本）

きき楽機能（聴取補助システム）について

本機のきき楽機能を使うと!!

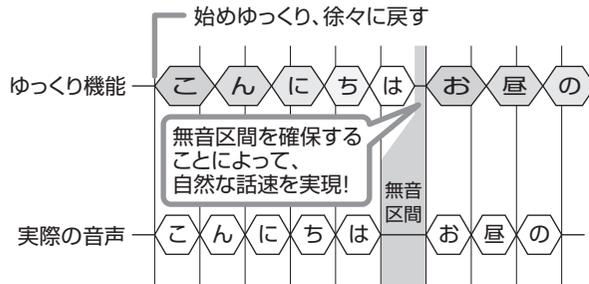
ゆっくり聞こえます。

はっきり聞こえます。

聞き直すことができます。

デジタル信号処理技術により、ラジオなどの話し手の声を明瞭で聞き取りやすい音声に変換するシステムです。

ゆっくり

ニュースの早口アナウンサーもゆっくりと話してくれます。
話しを聞き取りやすくするために、話し始めのスピードを落とし、徐々に実際の速度に戻します。言葉と言葉の間（無音区間）を利用して速度を調節するので実時間を変えずに、自然で聞き取りやすくなります。

はっきり

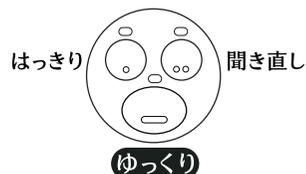
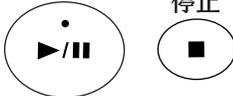
はっきりと聞き取りやすい音質です。
「小さな声は聞き取りにくく、大きな音は不快に感じる」という加齢による聴力特性に着目。音声を聞こえやすい音の大きさに補正することで、はっきりとした音を再現します。

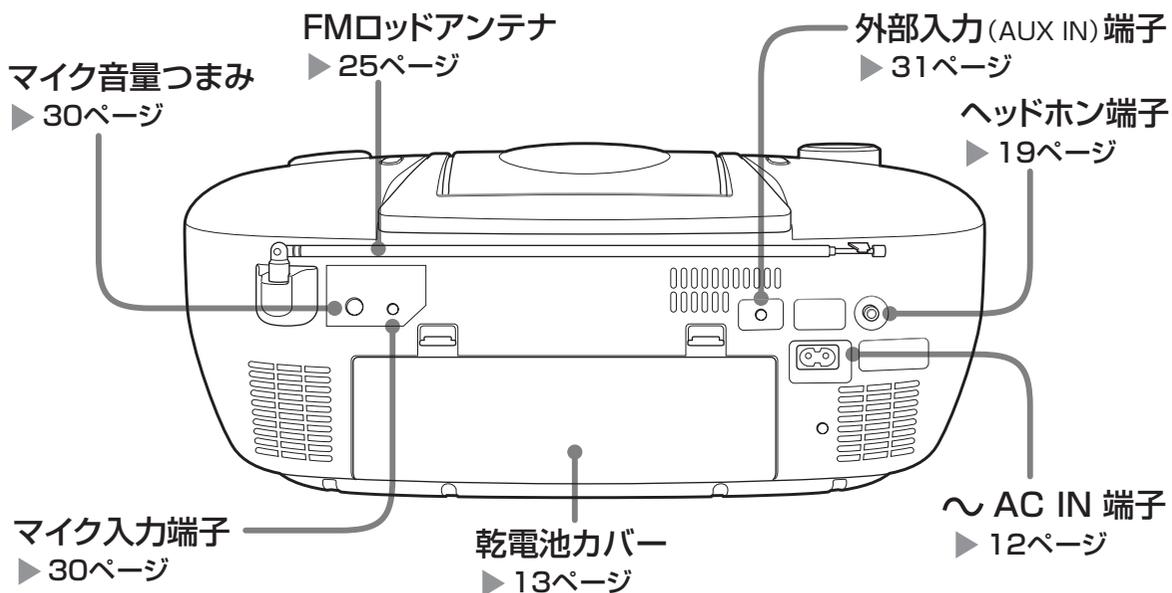
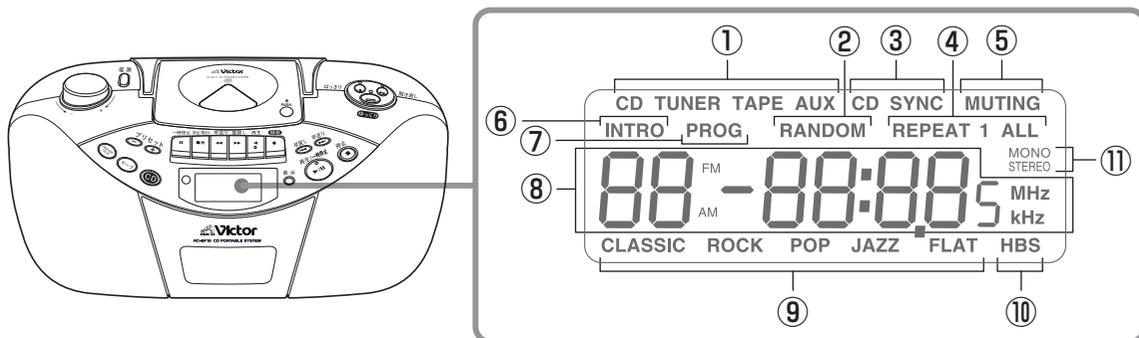
聞き直し

聞き逃がしても、すぐにくり返してくれます。
音声を常時本体に記憶（最長10秒間）しているので、電話番号や耳慣れない言葉など、聞き逃した内容をくり返し確認することができます。

各部の名前

本体/正面

電源ボタン
▶16ページ
電 源
音量つまみ
▶18ページ
音 量
プリセットボタン
プリセット
▶25ページ
CDドア
▶20ページ
CD取り出し部
PUSH
▶20ページ
きき楽ボタン
はっきり
聞き直し
ゆっくり
▶26、27ページ
Victor
RC-BF10 CD PORTABLE SYSTEM
一時停止 停止/取出し 早送り 巻戻し 再生 録音
早戻し 早送り
再生/一時停止 停止
表 示
テープ
CD
音源(ソース)切り換えボタン
FM/AM
/AUX
テープ
CD
表示ボタン
表 示
通常の表示と時刻表示を
切り換えます。
▶17ページ
CD操作ボタン
早戻し 早送り
再生/一時停止
停止
▶20、21ページ
カセットホルダー
▶22ページ
テープ操作ボタン
一時停止 停止/取出し 早送り 巻戻し 再生 録音
▶22、23ページ

各部の名前（つづき）

本体/背面

表示窓（ディスプレイ）

①音源（ソース）種別表示
▶ 20、22、24、31ページ

②ランダム演奏表示
▶ 34ページ

③シンクロ録音表示
▶ 41ページ

④リピート演奏表示
▶ 32ページ

⑤消音表示
▶ 18ページ

⑥イントロ再生表示
▶ 36ページ

⑦プログラム再生表示
▶ 38ページ

⑧文字情報表示部

⑨プリセットイコライザー表示
▶ 19ページ

⑩重低音（ハイパー・バス・サウンド）表示
▶ 19ページ

⑪FM放送のモード表示
▶ 25ページ

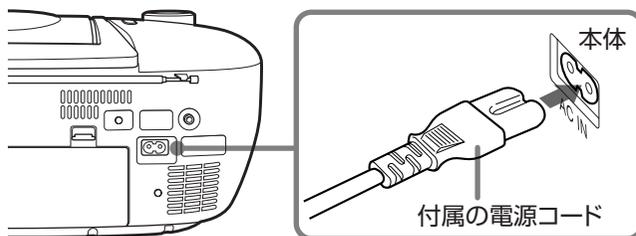
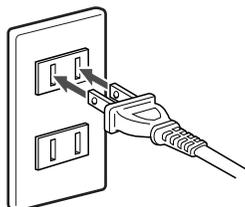
リモコン

電源ボタン 電 源
▶16ページ
乾電池で使っているとき、
このボタンは働きません。
表 示
▶17ページ
ランダム
CD専用
▶ 34ページ
FM/AM /AUX
テープ
C D 再生 /一時停止
音源(ソース)切り換えボタンです。
停 止
CD専用
▶21ページ
プリセット
ラジオ専用
▶ 25ページ
早戻し 早送り
CD または ラジオ
▶21、24ページ
FMモード
FM専用
▶ 25ページ
リピート
CD専用
▶ 32ページ
イントロ
CD専用
▶ 36ページ
プログラム/時計あわせ
▶ 17、38ページ
ビートカット
AM 録音専用
▶ 42ページ
Victor
RM-SRCBF10
消 音
▶ 18ページ
HBS/プリセット イコライザー
重低音(ハイパーバスサウンド)で
楽しんだり、音楽に合った音質で
楽しみたいときに押します。
▶ 19ページ
きき楽ボタン
ゆっくり
はっきり
聞き直し
▶ 26ページ
音 量
▶ 18ページ

電源とリモコン

家庭用コンセント、または乾電池で使用することができます。

■家庭用コンセントで使う

1 付属の電源コードを本体のAC IN端子に差し込む。

2 家庭用コンセントに差し込む。

注　意

・形状の違いによる故障や事故を防止するため、指定以外の電源コードは絶対に使用しないでください。

・付属のコードは本機以外の機器には使用しないでください。

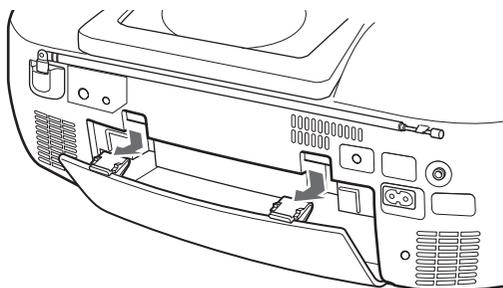
お知らせ

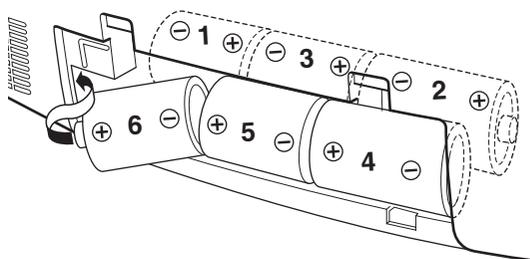
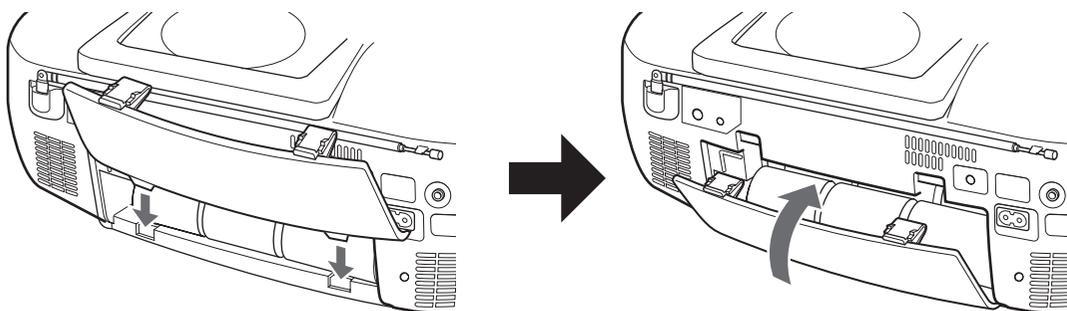
・電源コードを紛失したり電源コードが断線したときは、ビクターサービスセンター（▶50ページ）にお問い合せください。

・長時間使用しないときは、安全と節電のためコンセントから電源コードを抜いておきましょう。電源が切れていても、電源コードが接続されていると約0.9Wの電力を消費します。

乾電池で使う

電源コードが本体に接続されていると、乾電池では使用できません。乾電池で使用するときは、必ず電源コードを抜いてください。

1 乾電池カバーを外す。

2 単1形乾電池（市販）を、番号順に6本入れる。

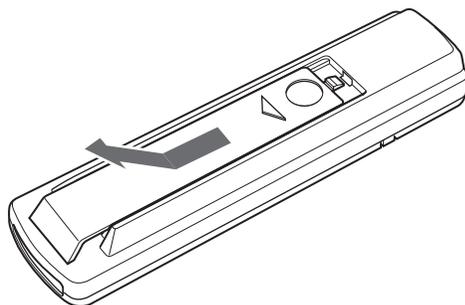
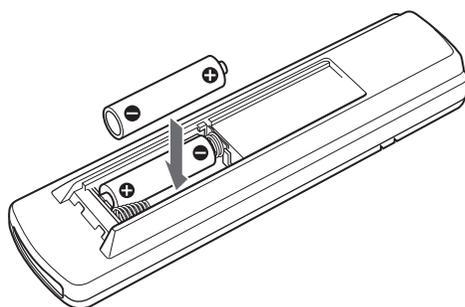
乾電池のプラス（＋）とマイナス（－）の向きを右図に従って正しく入れてください。

3 乾電池カバーを元通りに閉める。

お知らせ

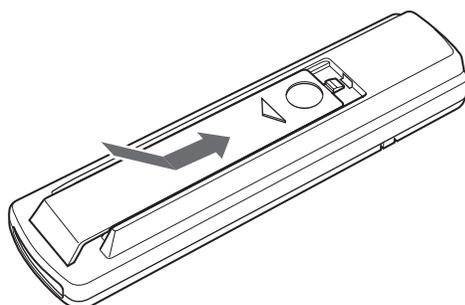
・乾電池が消耗してくると、音が小さくなったり音が割れたりします。このようなときは、6本とも、同じ種類の新しい乾電池と交換してください。

・長時間使用しないときは、乾電池を取り出してください。

・座ぶとんなどで本機の前面を保護し、安定した状態で電池を入れてください。

■リモコン乾電池の入れかた

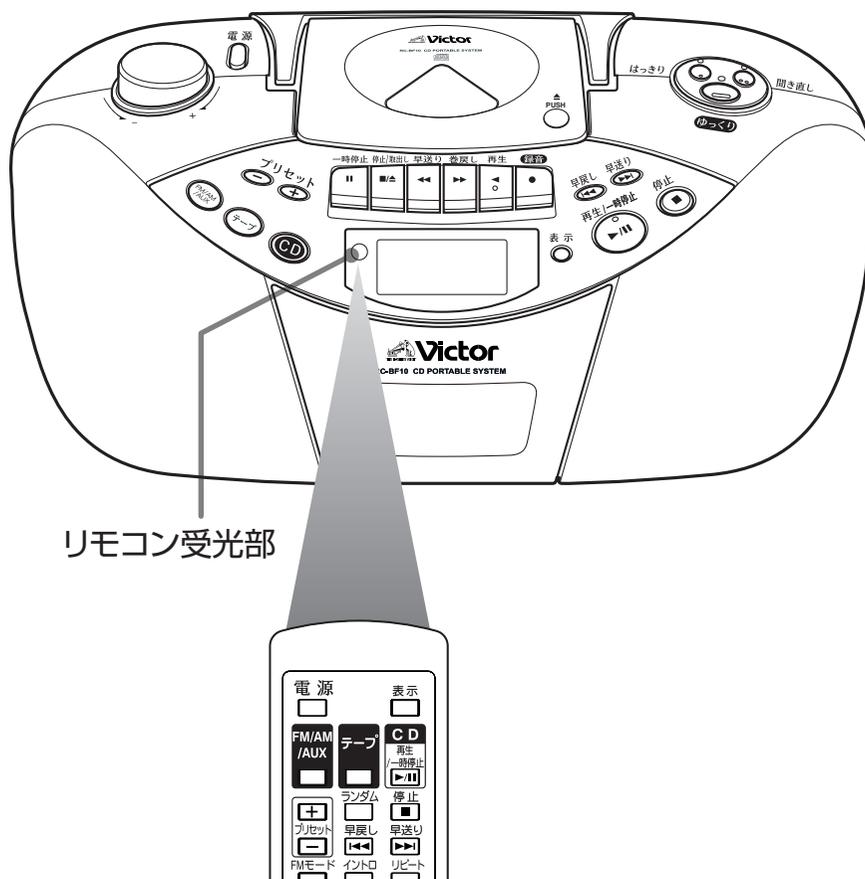
1 裏ブタを外す。

2 単4形乾電池を、2本入れる。

乾電池のプラス（＋）とマイナス（－）の向きを表示に従って正しく入れてください。

3 裏ブタを閉める。

矢印の方向に戻します。

お知らせ

・リモコン操作できる距離が短くなったときは、電池が消耗しています。このようなときは、2本とも、同じ種類の新しい乾電池と交換してください。

・付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。交換するときは、乾電池のプラス（＋）とマイナス（－）の向きを表示に従って正しく入れてください。

■リモコン操作のしかた

●リモコン受光部に正しく向けて操作してください。

●操作可能な距離は、リモコン受光部より約7mですが、斜めから操作すると短くなります。

注 意

・リモコンを落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

・他のラジオにノイズ（雑音）が入るときは、離してお使いください。

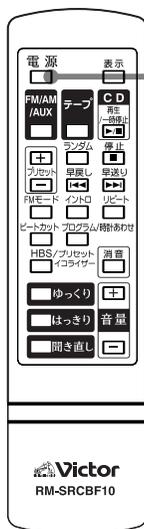
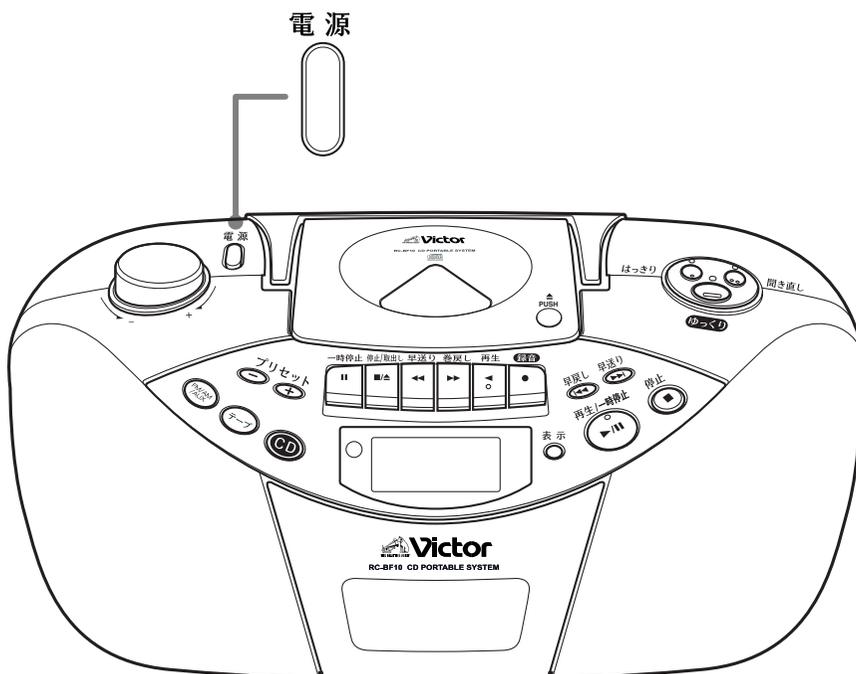
・次のような状態で使用しないでください。動作しないことがあります。

・リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっているとき

・リモコン受光部の前にリモコンの信号を妨げるものがあるとき

電源を入れる／切る

電源コードが正しく接続されているか、または乾電池が正しく入れてあるか、確認します。

電源ボタンを押して、電源を入れます。
電源を切るときは、もう一度押します。

電 源

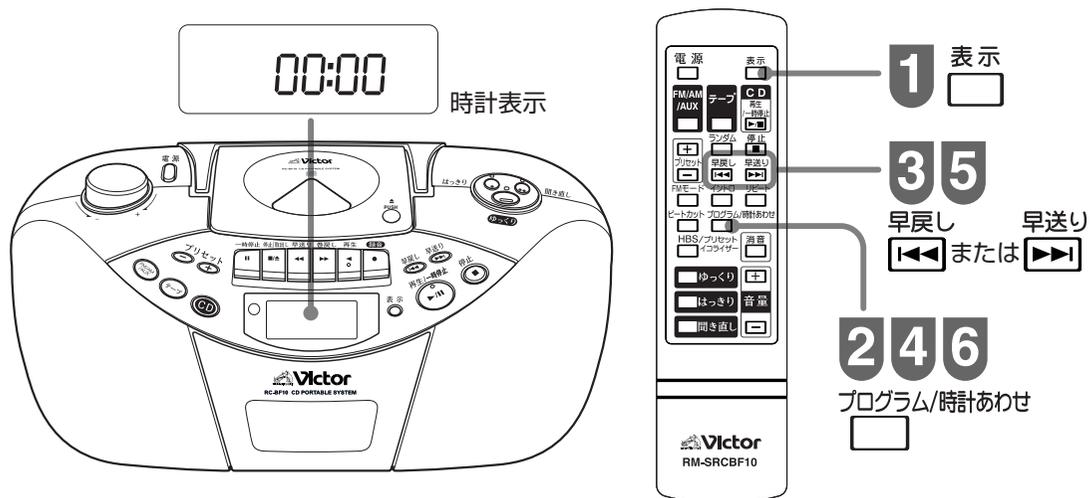
・本機を電源コードで家庭用コンセントに接続しているときは、リモコンで電源を入れたり切ったりすることができます。

・乾電池で使用しているときは、リモコンの 電源 ボタンは、電源の切り忘れによる電池の消耗を防ぐため、働きません。

お知らせ

・本機を電源コードで家庭用コンセントに接続しているときは、電源を入れると本体の表示部の照明が点灯します。乾電池で使用しているときは、電源を入れてもこの照明が点灯しません。

時計を合わせる （電源が入っていなくても操作できます）

現在の時刻を設定します。本機の時刻は、「24時間表示」です。

1 本体の表示部に時計が表示されていないときは、表示を押す。

2 プログラム/時計あわせを押す。

本体の表示部の「時」表示が点滅します。

3 早戻し または 早送り で「時」を合わせる。

4 プログラム/時計あわせを押す。

「時」が設定され、次に「分」表示が点滅します。

5 早戻し または 早送り で「分」を合わせる。

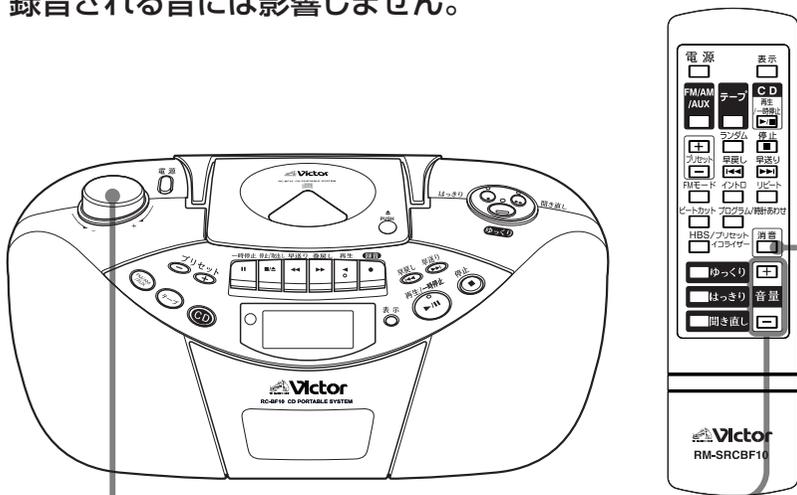
6 プログラム/時計あわせを押す。

時刻が設定されます。

お知らせ

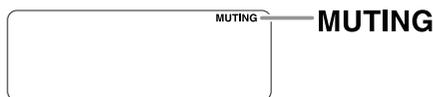
- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じます。月に一度は時刻を合わせ直すことをお勧めします。
- 停電したときや、電源コードが外れたときは、時刻を合わせてください。

音量・音質を調節する

CD、カセットテープ、ラジオなどを聴くときの音量・音質を調節することができます。
録音される音には影響しません。

■ 音声を消す

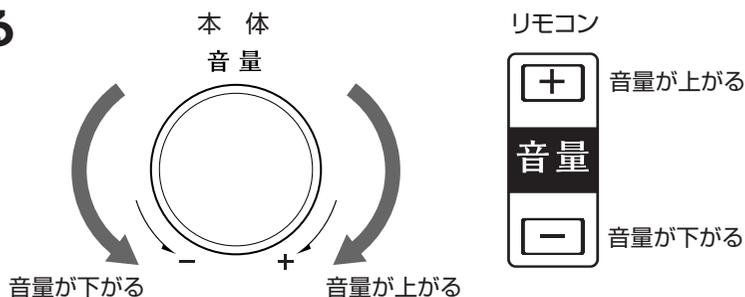
再生中の音声を消すことができます。

リモコンの 消音 を押すと音声が消えます。

MUTING

もう一度 消音 を押すと、元に戻ります。

次のようなときも、音声が元に戻ります。

・音量を調節したとき
・音源（ソース）切り換えボタンを操作したとき

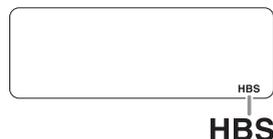
■ 音量を調節する

音量は、レベル00〜30までの範囲で調節できます。

■重低音を楽しむ

重低音（ハイパー・バス・サウンド）で演奏を楽しむことができます。
表示部に「HBS」と表示されるまで、リモコンの HBS/プリセットイコライザー を1秒以上押します。
解除するには、「HBS」表示が消えるまで HBS/プリセットイコライザー を押してください。

例:「HBS」ONのとき

HBS

HBS

■最適な音質で音楽を楽しむ

音楽の種類に適した音質を選ぶことができます。
リモコンの HBS/プリセットイコライザー をポンと押すごとに、次のように切り換わります。

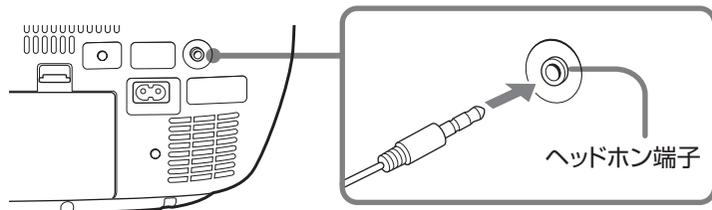
例:CLASSIC（クラシック）のとき

CLASSIC

CLASSIC

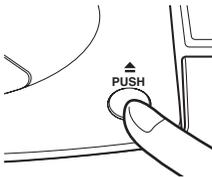
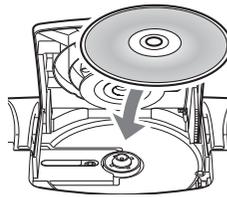
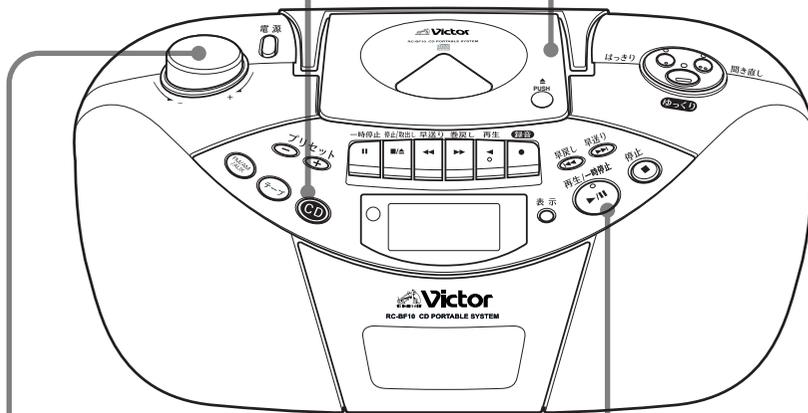
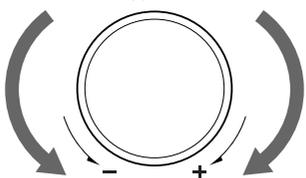
CLASSIC （クラシック）:高音を強調した設定
↓
ROCK （ロック）:低音と高音を強調した設定
↓
POP （ポップ）:ボーカルやナレーションに向いた設定
↓
JAZZ （ジャズ）:ライブの臨場感を強調した設定
↓
FLAT （フラット）:通常の状態に戻ります

■ヘッドホンを使用するときは

市販のヘッドホンを本体裏側のヘッドホン端子に接続します。ヘッドホンを接続すると、スピーカーからの音声は出力されません。
ヘッドホンを接続する前に、必ず音量を下げてください。

CDを聞く

CDの演奏を楽しむための基本的な手順を説明します。

▶▶ CDを聞く前に、「CDについて」（▶47ページ）をご覧ください。
▶▶ もっと詳しく機能を知りたいときは、「CDのいろいろな再生」（▶32ページ）をご覧ください。

電源を入れてから操作してください。（▶16ページ）

■演奏を停止する

停止（■）を押します。

曲数と総演奏時間が表示されます。

■一時停止する

再生/一時停止（►/II）を押します。

もう一度 再生/一時停止（►/II） を押すと、一時停止したところから演奏を再開します。

■聞きたい曲を頭出しする（スキップ）

- 早戻し（I◄◄）を押すたびに、1曲ずつ戻ります。演奏中に押すと、その曲の頭に戻ります。
- 早送り（►►I）を押すたびに、次の曲に送られます。

■演奏中に早送り・早戻しする（サーチ）

- 演奏中に 早戻し（I◄◄） を押したままにすると、早戻しすることができます。
- 演奏中に 早送り（►►I） を押したままにすると、早送りすることができます。

お知らせ

・早送り、早戻しの最中は、音が小さくなります。

・次のようなときは、「Err」と表示されますので、CDを正しく入れ直すか、または演奏できるCDを使用してください。

–CDにゴミやキズが付いているとき
–裏表を逆に入れたとき
–演奏できないCDを入れたとき

・本機に強い衝撃を与えたり、振動の多いところで使用すると、音飛びを起こすことがあります。

・CDの内容によっては、音飛びを起こすことがあります。このようなときは音量を下げてお聞きください。

・本機を持ち運びするときは、CDトレイからCDを取り出しておいてください。

カセットテープを聞く

カセットテープを聞くための基本的な手順を説明します。

▶▶ カセットテープを再生する前に、「カセットテープについて」（▶48ページ）をご覧ください。

▶▶ 録音の操作については「録音する」（▶41～44ページ）をご覧ください。

電源を入れてから操作してください。（▶16ページ）

■再生を停止する

停止/取出し
[■/⏏] を押します。

■一時停止する

一時停止
[II] を押します。

もう一度 一時停止 [II] を押すと、一時停止したところから演奏を再開します。

■早送り・巻戻しする

- テープが停止しているときに 早送り [◀◀] を押すと、テープは早送りされます。
- テープが停止しているときに 巻戻し [▶▶] を押すと、テープは巻戻されます。

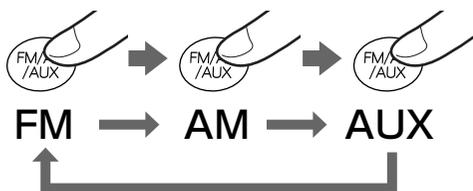
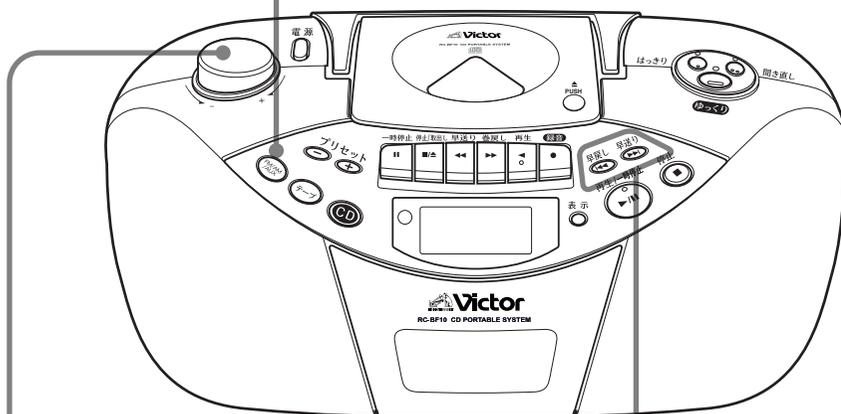
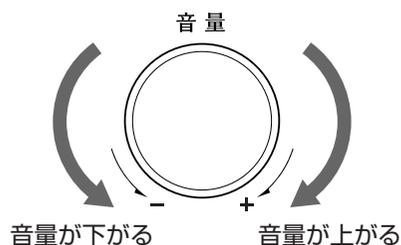
お知らせ

- ·C-120やC-150などの長時間テープは、故障の原因となるため使用しないでください。C-90（90分）以下の長さのテープを使用してください。
- ·本機はノーマルポジション（TYPE Ⅰ）対応です。ハイポジション（TYPE Ⅱ）やメタルテープ（TYPEⅣ）には対応していません。再生しても、正しい音質で再生されません。
- ·テープにたるみがないか確認してください。たるみがあるときは、取り除いてください。
- ·他の音源（ソース）が選択されているとき、再生 [◀] を押すとテープは走行しますがテープの音声は出ません。

ラジオを聞く

ラジオやテレビの放送を聞くための基本的な手順を説明します。

電源を入れてから操作してください。（▶16ページ）

1 FM/AM/AUX を押し、「FM」または「AM」を選ぶ。

3 音量を調節する。

2 放送局を選ぶ。

早戻し（⏮）または早送り（⏭）を押して、放送局を選びます。

マニュアル選局

- 早戻し（⏮）または早送り（⏭）を押すごとに周波数が変わります。押すごとに、FMは0.05MHzずつ、AMは9kHzずつ変わります。

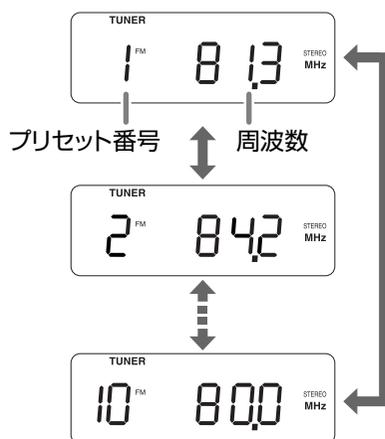
オート選局

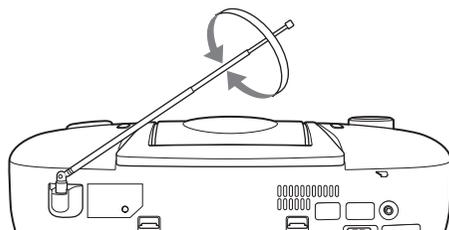
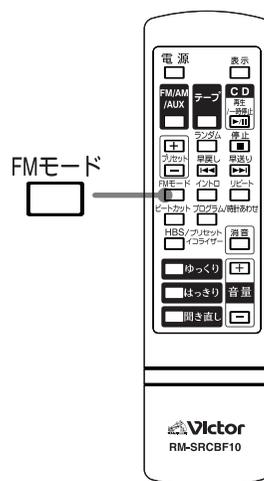
- 早戻し（⏮）または早送り（⏭）を押し続け、周波数表示が変わり始めたら指を離します。放送局を受信すると自動で止まります。

■放送局を登録してあるときは
（プリセット▶28ページ）

（プリセット▶28ページ）

プリセット − または プリセット ＋ を押して選局できます。

押すごとにプリセット番号が切り換わります。

■よりよく受信するために

FM放送
アンテナの長さ・向き・角度を調整して、最もよく受信する状態にしてください。
窓際に置くと、より受信しやすくなります。

FMステレオ放送を受信すると「STEREO」が表示されます。
FMステレオ放送の雑音が多いときは、リモコンの FMモード を押します。モノラル受信に切り換わり（「MONO」と表示）、雑音が軽減されます。ステレオ受信に戻すときは、もう一度 FMモード を押します。

AM放送
本体内部にアンテナがあります。本体を動かして、最もよく受信する向きにしてください。

ラジオを聞く

きき楽機能（聴取補助システム）

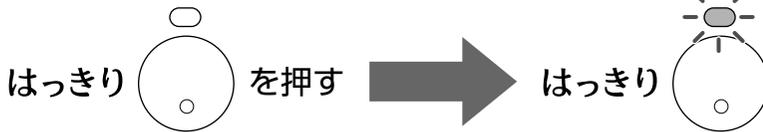
ラジオの英会話や応募のお知らせなどを、確認しながら聞きたいときに便利な機能です。

お知らせ

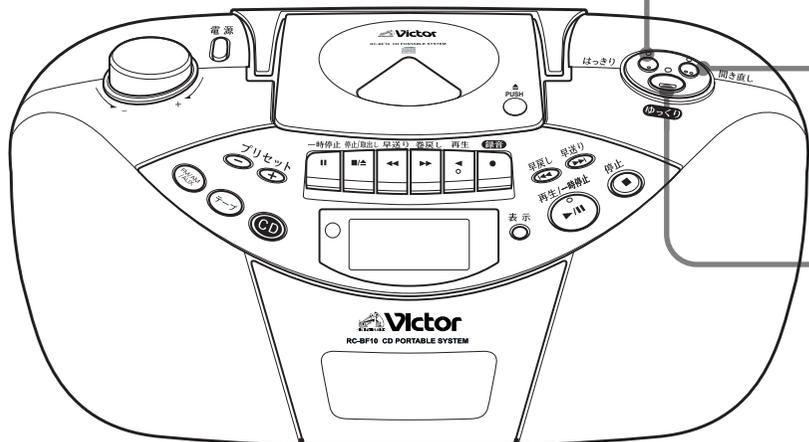
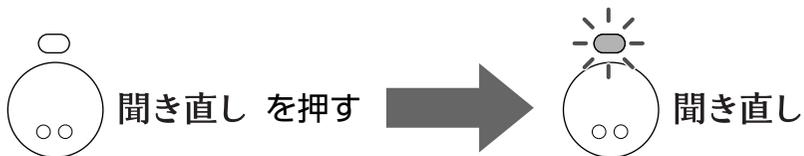
・きき楽機能は、ラジオだけでなく、CDやテープの再生音、外部入力音（AUX）、マイク入力音にも効果があります。なお、きき楽機能の効果は、録音される音には影響しません。

・きき楽機能を使っているとき、音声はモノラルになります。

・「ゆっくり」「はっきり」「聞き直し」の3つの機能を同時に使うこともできます。

はっきり　話し声が聞きとりづらいとき

話し声は聞き取りやすくなります。
もう一度押すとランプが消えて、はっきり機能が解除されます。

お知らせ

・雑音が多いときは、はっきり機能の効果が得られないときがあります。

聞き直し もう一度聞きたいとき

聞き直し を押す
聞き直し

押す直前の音声（最長10秒）をくり返して聞くことができます。
ランプ点灯中は、音声がくり返されます。
もう一度押すとランプが消えて、聞き直し機能が解除され通常の放送に戻ります。

お知らせ

・聞き直し音声の最初の部分には、1秒間の無音が入ります。

・解除してから10秒以内に再び 聞き直し を押すと、繰り返し時間は解除してからボタンを押すまでの時間になります。

ゆっくり 話が早くて聞き取りづらいとき

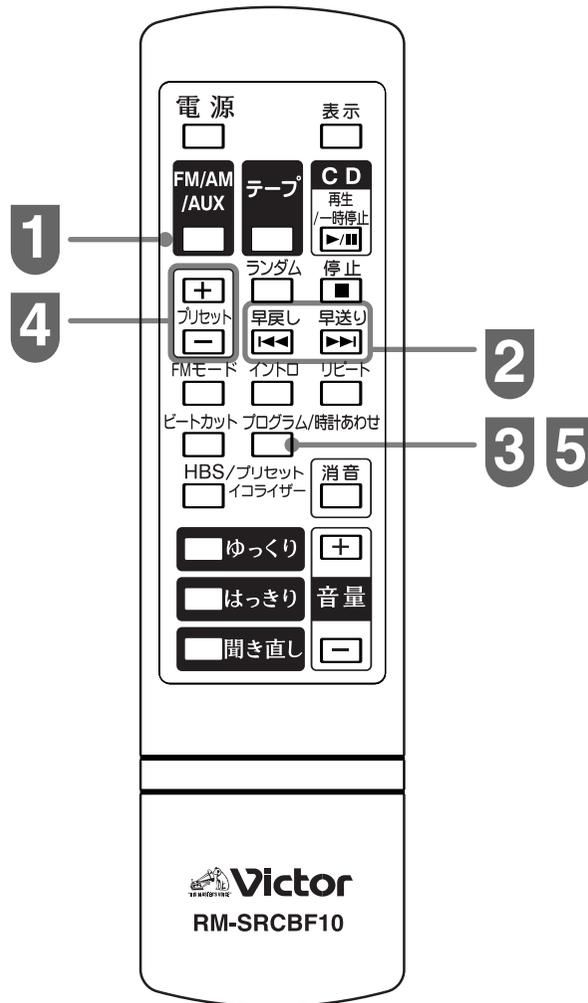
早口の話し声がゆっくり聞こえます。
もう一度押すとランプが消えて、ゆっくり機能が解除され通常の速度に戻ります。

お知らせ

・内容によっては、ゆっくり機能の効果が得られないときがあります。

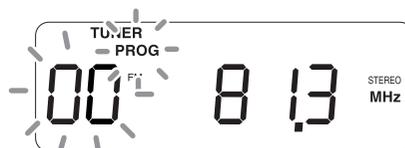
ラジオの放送局を登録する（プリセット）

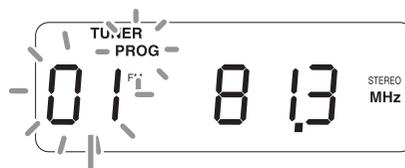
あらかじめ放送局を選んで、本機に登録することができます（プリセット）。
FM放送、AM放送をそれぞれ10件登録できます。

電源を入れてから操作してください。（▶16ページ）

1 FM/AM /AUX を押して、「FM」か「AM」を選ぶ。

2 早戻し ⏮ または 早送り ⏭ を押して、登録したい放送局を選ぶ。

例　FM 81.3MHz

3 プログラム/時計あわせ を押す。

本体の表示部に「PROG」と「プリセット番号」が、点滅表示されます。

4 「PROG」が点滅表示しているときに、プリセット ＋/－ を押して、プリセット番号を選ぶ。

プリセット番号

すでに放送局が登録されている番号を選ぶと、その番号に新しい放送局が登録されます。

5 プログラム/時計あわせ を押す。

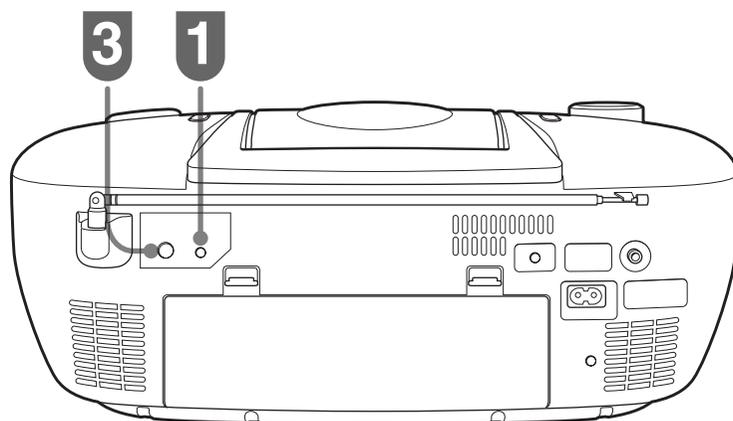
放送局が登録されます。手順**2**～**4**をくり返して、放送局を登録していきます。

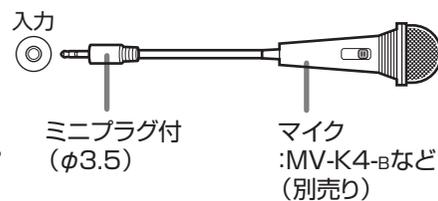
お知らせ

・プリセットした放送局は、プリセット ＋/－ や本体の プリセット －/＋ で選局できます。(▶25ページ)

・電源コードを抜いた状態(または停電)が約1週間続くと、プリセット内容は取り消されます。

他のオーディオ機器を使う

マイクを使う －マイクミキシング－

1 **マイク端子にマイクを接続する**

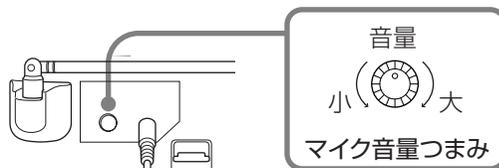
使用するときはマイクのスイッチを「ON」にします。
使用しないときは本機から抜いておいてください。
本機の電源は、マイクを接続してから入れてください。
（▶16ページ）

2 **ミキシングする音源を選ぶ。**

CD…CDを再生します。（▶20ページ）

カセットテープ…カセットテープを再生します。（▶22ページ）

ラジオ…放送局を選びます。（▶24ページ）

他のオーディオ機器…レコードプレイヤーなどの他のオーディオ機器を接続して再生します。（▶31ページ）

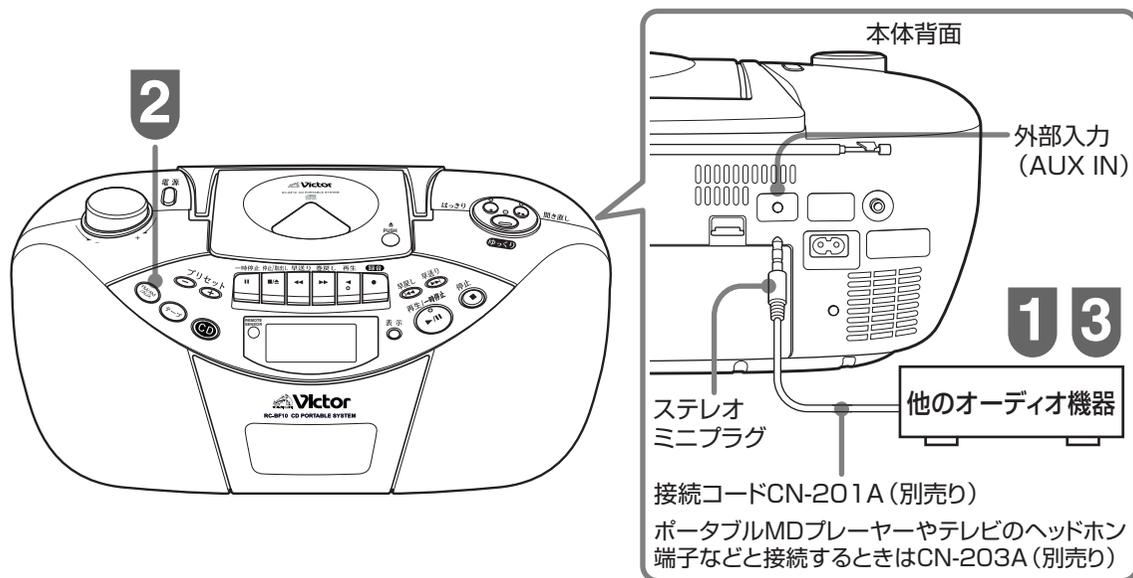
3 **マイクの音量を調節する。**

お知らせ

・マイクを吹いたり叩いたりすると、故障の原因になります。
・スピーカーから「ピー」という音が出るときは（ハウリング）、マイクを本機から離すか、音量を下げてください。

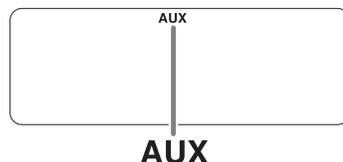
他のオーディオ機器の音声を聞く

レコードプレイヤーやテレビ、他のラジカセなど、本機以外の機器の音声を楽しむことができます。

●あらかじめ他のオーディオ機器を本機背面の外部入力（AUX IN）端子に接続します。

●ご使用になる他のオーディオ機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。

1 外部入力（AUX IN）端子に他のオーディオ機器を接続する。

他のオーディオ機器の電源を「切」にしてから接続してください。

2 本機の電源を入れ、（FM/AM /AUX）を押して「AUX」を選ぶ。

3 他のオーディオ機器の演奏を始める。

他のオーディオ機器の取り扱いなどは、他のオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

4 音量、音質などを調節する。（▶18ページ）

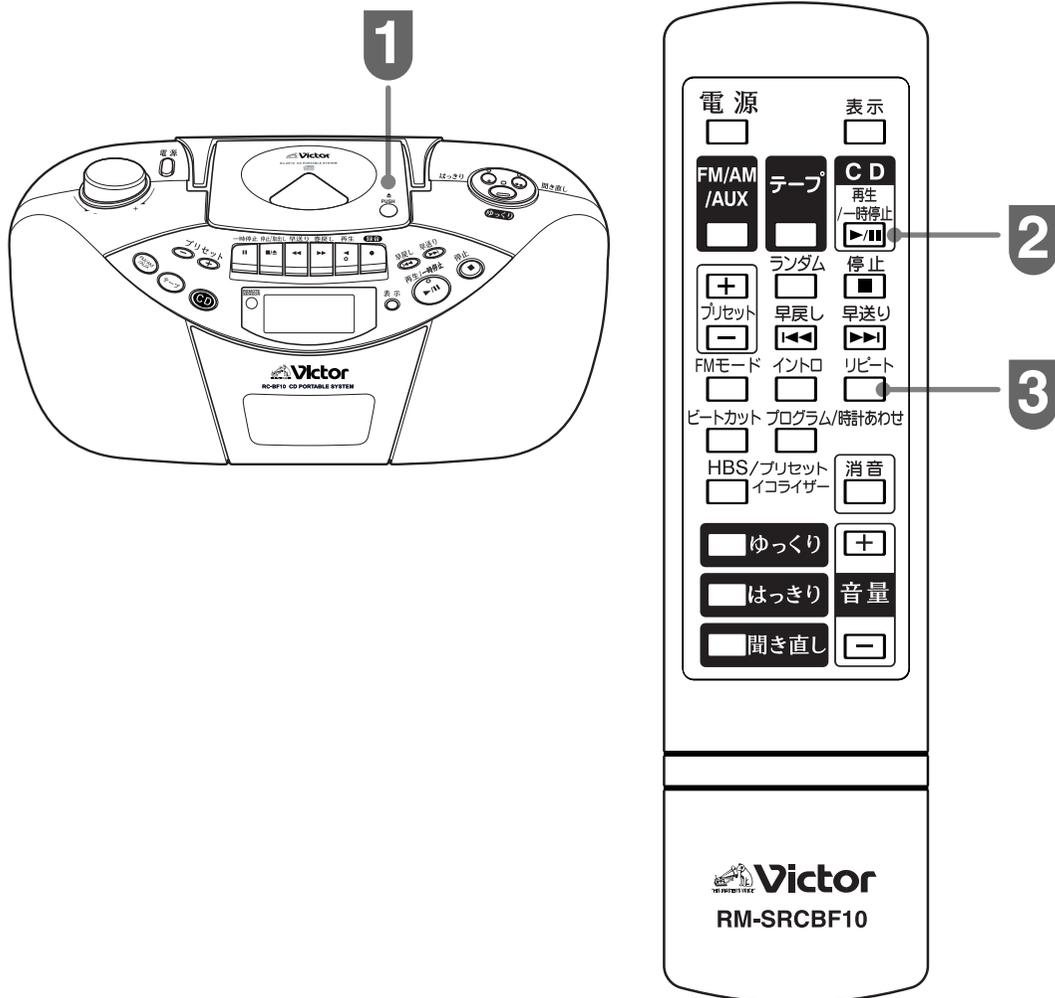
お知らせ

・レコードプレイヤーを接続するときは、フォノイコライザーが必要です。

いろいろな機能

CDのいろいろな再生

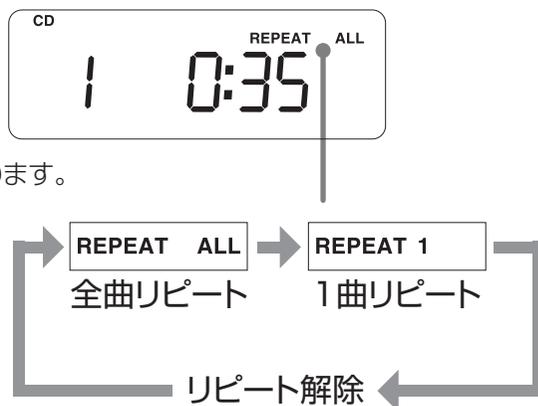
くり返し聞く（リピート再生）

1曲または全曲をくり返して聞くことができます。
電源を入れてから操作してください。（▶16ページ）

1 CDを入れる。

2 [CD 再生/一時停止 ►/II] を押す。

3 [リピート] を押す。

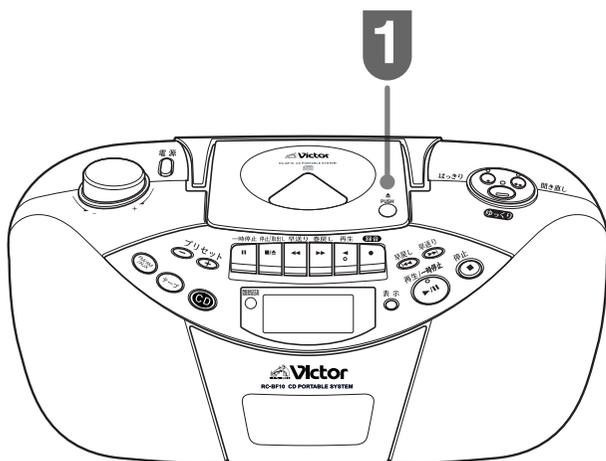
[リピート] を押すごとに右のように切り換わります。

リピート再生が始まります。

■リピート再生をやめるときは

[リピート] を何度か押して、REPEAT表示を消します。

おまかせの曲順で聞く（ランダム再生）

本機が曲を無作為（ランダム）に選んで、再生します。

電源を入れてから操作してください。（▶16ページ）

1 CDを入れる。

2 CD 再生/一時停止 ►/❚❚ を押す。

3 ランダム を押す。

本体の表示部に「RANDOM」が表示されます。

ランダム再生が始まります。
全ての曲の再生が終わると、自動停止します。

■ランダム再生をやめるときは

ランダム を押して、RANDOM表示を消します。

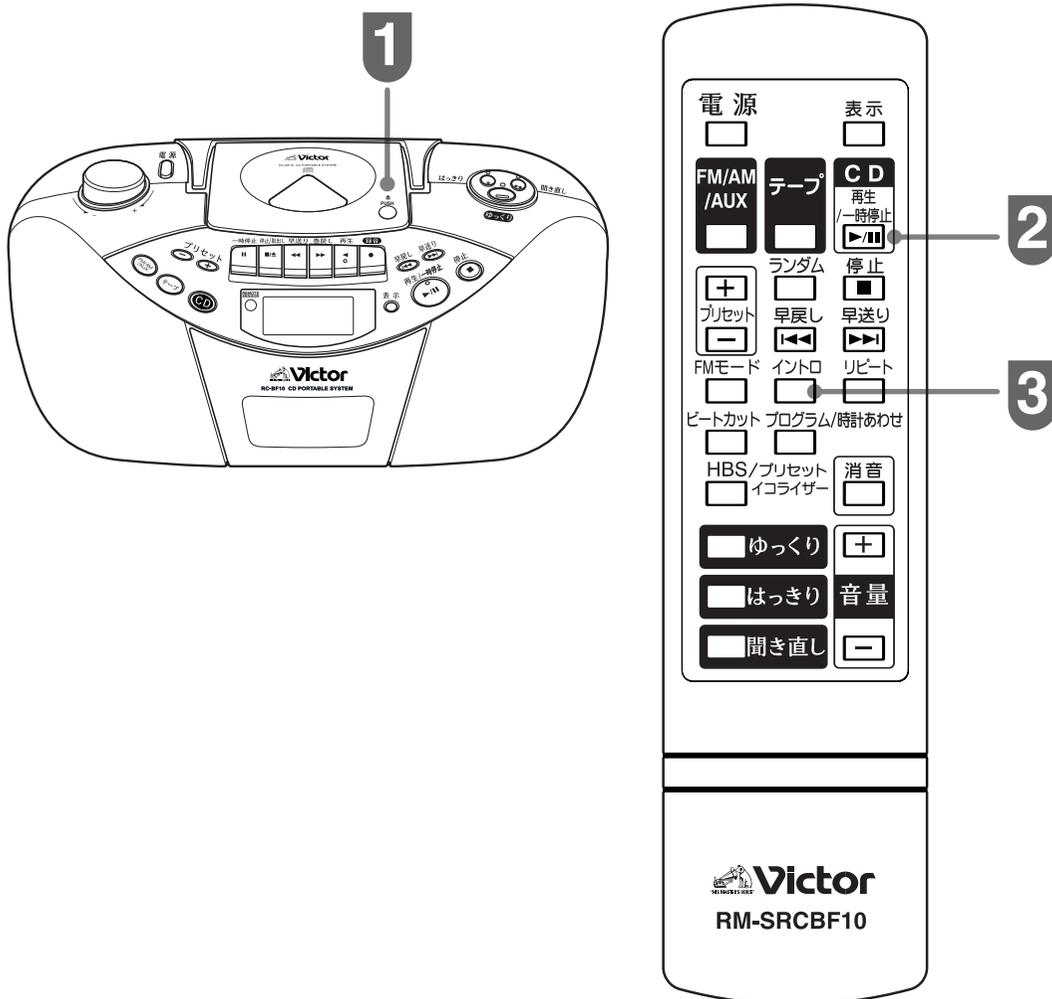
お知らせ

・ランダム再生と全曲リピート再生を組み合わせて使うこともできます。
・停止状態で ランダム を押してもランダム再生できます。

いろいろな機能

イントロだけを連続して聞く（イントロ再生）

各曲の開始から10秒だけ、連続して楽しむことができます。

電源を入れてから操作してください。（▶16ページ）

1 CDを入れる。

2 [CD 再生/一時停止 ►/II] を押す。

3 [イントロ] を押す。

本体の表示部に「INTRO」が表示され、イントロ再生が始まります。
全ての曲のイントロ再生が終わると、自動停止します。

■イントロ再生をやめるときは

[イントロ] を押して、INTRO表示を消します。

お知らせ

・停止状態で [イントロ] を押しても、イントロ再生を始めることができます。

いろいろな機能

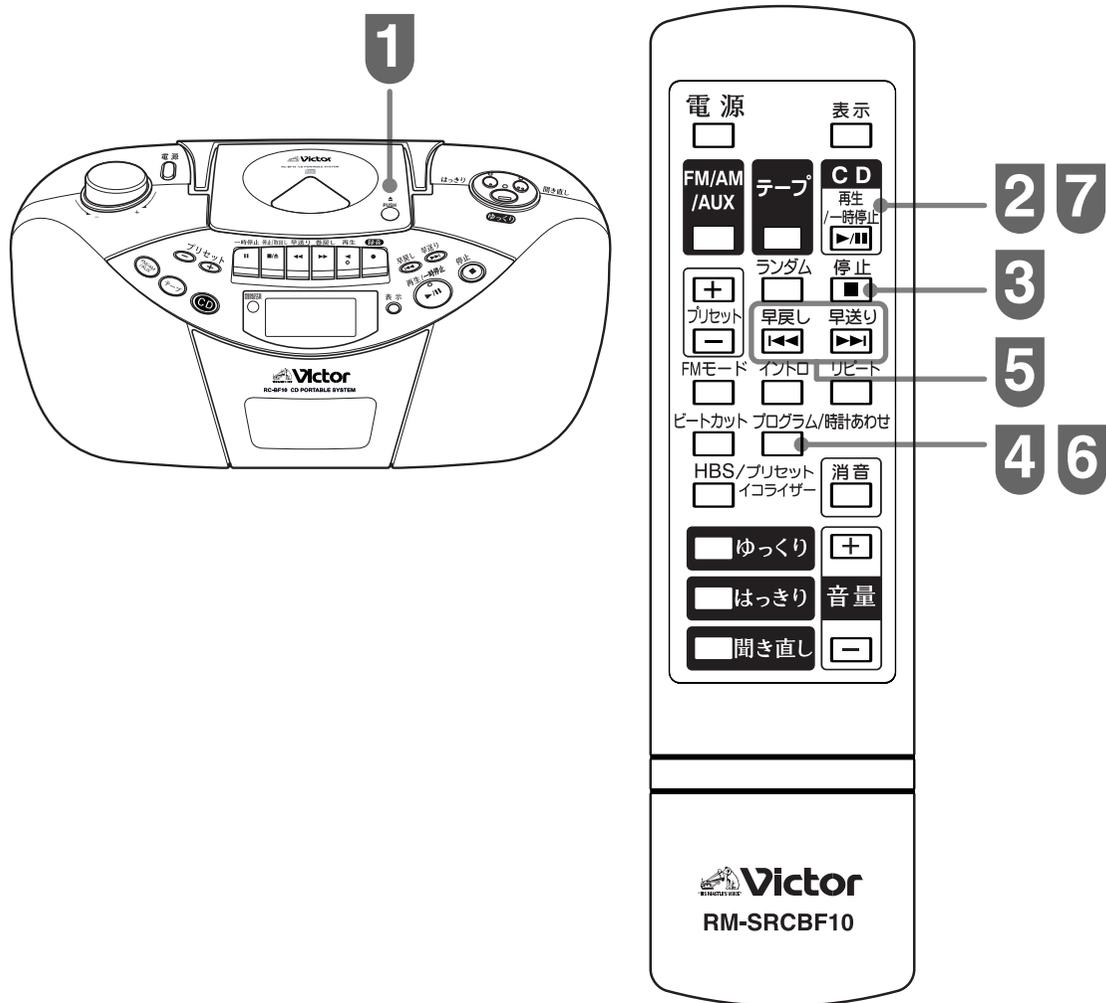
CDのいろいろな再生（つづき）

好きな曲順で聞く（プログラム再生）

好きな曲を好きな順番で再生することができます。最大で20曲プログラムすることができます。

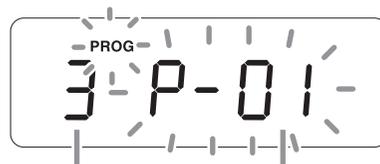
電源を入れてから操作してください。（▶16ページ）

1 CDを入れる。

2 CD 再生/一時停止 ►/❚❚ を押す。

3 停止 ■ を押す。

4 プログラム/時計あわせ を押す。

本体の表示部に「PROG」が点滅表示されます。

5 早戻し |◄◄ または 早送り ►►| を押して曲番号を選択する。

本体の表示部に「PROG」と「プログラム番号」が点滅表示されます。

6 プログラム/時計あわせ を押す。

選択した曲番号がプログラム（登録）されます。

続けてプログラム（登録）するには、手順 5 と 6 をくり返します。

7 プログラム設定が終了したら、CD 再生/一時停止 ►/❚❚ を押す。

プログラムした順番に再生が始まります。再生が終了すると自動停止します。

お知らせ

・プログラム再生と全曲リピート再生を組み合わせて使うこともできます。

プログラムの取り消し
プログラムの内容を確認

プログラムを取り消すときは

CDが停止して「PROG」が点滅中に、停止 ■ を押します。
CDドアをあけたときもプログラムは取り消されます。

プログラムの内容を確認するときは

CDが停止状態のときに、プログラム/時計あわせ をくり返し押します。

プログラム/時計あわせ を押すごとに、プログラムされた順にプログラム番号と曲番号が表示されます。

例：7曲をプログラムして確認するとき

プログラム/時計あわせ を押す → PROG 3 P-01（曲番号／プログラム番号）

プログラム/時計あわせ を押す → PROG 5 P-02

プログラム/時計あわせ を押す → PROG 2 P-03

⋮

プログラム/時計あわせ を押す → PROG 00 P-08

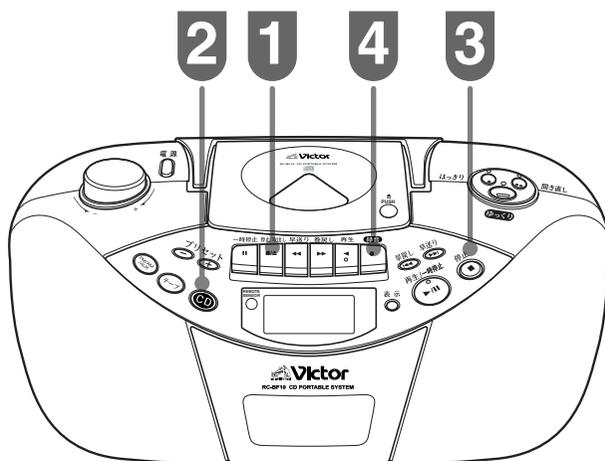
曲番号が00と表示されたときはプログラム登録されていません。
プログラム/時計あわせ をもう一度押すとプログラム番号1に戻ります。

Fullと表示されたときはプログラム登録がいっぱいです（最大20曲）。これ以上登録することはできません。
プログラム/時計あわせ をもう一度押すとプログラム番号1に戻ります。

CDを録音する

CDをカセットテープに録音することができます。

●録音レベルは、自動調整されます。

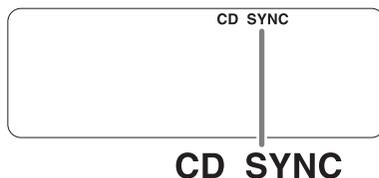
電源を入れてから操作してください。（▶16ページ）

1 **録音用のカセットテープを入れる。**

テープの始まりと終わりには、録音できない部分（リーダーテープ）があります。
録音する前に、リーダーテープ部分を巻き取っておきましょう。

2 (CD) **を押す。**

3 停止 (■) **を押す。**

4 録音 (•) **を押す。**

シンクロ録音機能が働き、CDの再生が自動的にはじまり、同時に録音も始まります。

■録音をやめるときは

停止/取出し (■/≜) を押します。

お知らせ

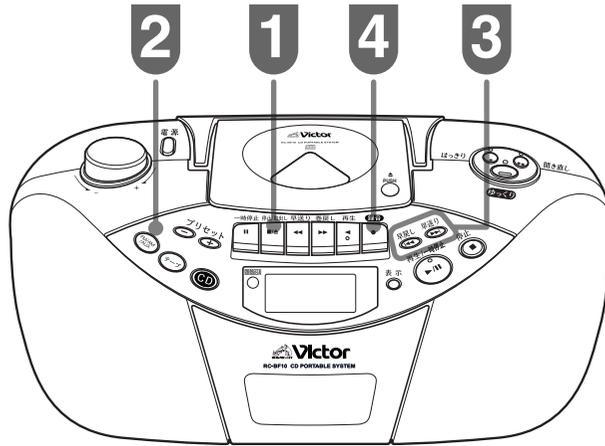
・テープが停止するとCDは一時停止します。

・CDのプログラム再生機能を使って、好みの曲順で録音することもできます。

・録音中に他の音源（ソース）ボタンを押さないでください。音源が切り換わり、他の音声が録音されます。

・本機はノーマルポジション（TYPE Ⅰ）対応です。ハイポジション（TYPE Ⅱ）やメタルテープ（TYPEⅣ）には対応していません。

ラジオ放送を録音する

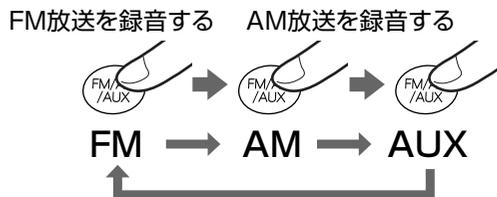
ラジオ放送をカセットテープに録音することができます。
電源を入れてから操作してください。（▶16ページ）

1 録音用のカセットテープを入れる。

テープの始まりと終わりには、録音できない部分（リーダーテープ）があります。
録音する前に、リーダーテープ部分を巻き取っておきましょう。

2 FM/AM /AUX を押して、「FM」か「AM」を選ぶ。

FM放送を録音する　AM放送を録音する

FM/AUX → FM/AUX → FM/AUX

FM → AM → AUX

3 録音したい放送局を選ぶ。（▶24、25、28ページ）

4 録音 ● を押す。

録音が始まります。

■録音をやめるとき は

停止/取出し ■/≜ を押します。

> **AM放送録音中に、ピーという音（ビート音）が気になるとき**
>
> リモコンの ビートカット を押します。
> 押すごとに次のように切り換わります。
>
> **cut1 ⟷ cut2**
>
> ピーという音（ビート音）が軽減される方を選んでください。

お知らせ

・録音中に他の音源（ソース）ボタンを押さないでください。音源が切り換わり、他の音声が録音されます。

他のオーディオ機器の音声を録音する

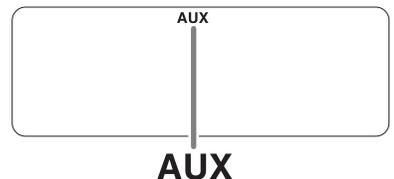
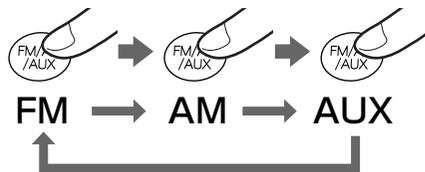
他のオーディオ機器の音声をカセットテープに録音することができます。

●あらかじめ他のオーディオ機器と接続しておきます。（▶31ページ）
電源を入れてから操作してください。（▶16ページ）

1 録音用のカセットテープを入れる。

テープの始まりと終わりには、録音できない部分（リーダーテープ）があります。
録音する前に、リーダーテープ部分を巻き取っておきましょう。

2 FM/AM /AUX を押して、「AUX」を選ぶ。

他のオーディオ機器の
音声を録音する

3 他のオーディオ機器の再生を始める。

詳しくは、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

4 録音 を押す。

■録音をやめるときは

停止/取出し を押します。

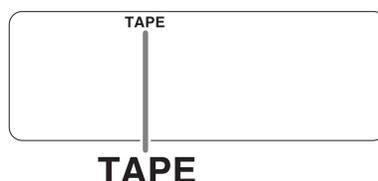
お知らせ

・録音中に他の音源（ソース）ボタンを押さないでください。音源が切り換わり、他の音声が録音されます。

録音した内容を消去する（無音録音）

録音した内容を、消去（無音録音）することができます。
電源を入れてから操作してください。（▶16ページ）

1 消去したいカセットテープを入れる。

2 （テープ）を押す。

3 （録音 ●）を押す。

■無音録音をやめるときは

停止/取出し
 を押します。

お知らせ

・消去中に他の音源（ソース）ボタンを押さないでください。音源が切り換わり、音声が録音されます。

故障かな?と思う前に

あれ?故障かな?と修理に出す前に、もう一度確かめてください。

症　状		原　因	処置・確認のしかた	ページ
共通	音がでない。	ヘッドホンがつながれている。	ヘッドホンのプラグを抜いください。	19
	表示窓の時刻表示が点滅している。	停電があった。 電源コード（乾電池）を抜いていた。	時計を合わせ直してください。	17
CD	演奏が始まらない。	CDが裏返しになっている。	文字がある面が上になるように正しく入れてください。	20
		レンズに露がついている。	電源を入れたまま数時間待ち、乾いてからご使用ください。	6
	特定の箇所が正常に演奏できない。	CDにキズがある。	CDを交換してください。	47
	表示窓に演奏時間が表示されるが、音が出ない。	MP3ディスクまたはビデオCD(VCD)を再生している。	演奏できるCDを使用してください。	47
テープ	再生音が小さい。	ヘッドが汚れている。	ヘッドを清掃してください。	46
	録音 を押しても録音状態にならない。	カセットの誤消去防止用のツメが折れている。	セロハンテープなどでツメの穴をふさいでください。	48
ラジオ	雑音が多くて放送がうまく受信できない。	アンテナの調節が悪い。	アンテナを調節し直してください。また、設置場所を変えてください。	25
		テレビやOA機器がそばにある。	テレビやOA機器などから離してください。	6
リモコン	リモコンが操作できない。	リモコンの乾電池が消耗している。	新しい乾電池（単4形）と交換してください。	14
		リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっている。	直射日光や照明器具などの強い光が当たらない場所で操作してください。	15

上記の処置をしても正しく動作しないときは

本機はマイコンの働きで、多くの動作を行っています。万一、どのボタンを押しても正しく動作しないときは、一度電源コードを外し、しばらく待ってからつなぎ直してください。

- 本機の故障または不具合等により、録音・再生およびCDの演奏などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。
- 大切な録音の場合は、必ず事前に試し録音をして正常に録音できることを確認してからお使いください。

お手入れについて

末永くお使いいただくために、定期的なお手入れをお勧めします。

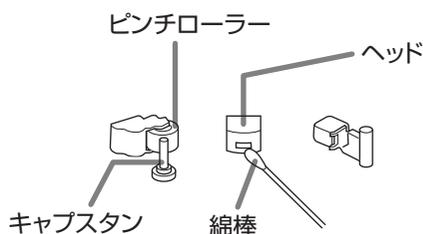
■本体の清掃

パネル操作面が汚れたら、柔らかい布でからぶきしてください。
汚れがひどいときは、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけてふき、そのあとにからぶきしてください。

・シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり、表面の仕上げをいためることがあります。

■テープデッキのヘッド部の清掃

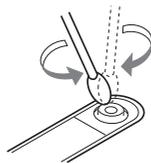
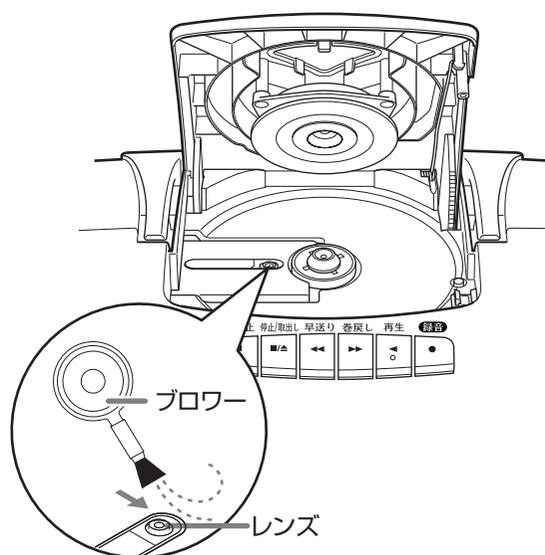
音が小さくなったり音質が悪くなる前に、およそ10時間使うごとにヘッドやピンチローラー、キャプスタンを清掃してください。

市販のクリーニングキット（綿棒とクリーニング液）を使うと便利です。

ヘッドの消磁について

ヘッドが磁化されると、高音が聞こえにくくなったり、雑音が多くなったりします。このようなときは、市販のヘッド消磁器で消磁してください。

■CDプレイヤーのレンズの清掃

レンズの汚れは音飛びなど演奏ができなくなる原因になります。
CDドアを開け、図のようにレンズをクリーニングしてください。
ほこりなどは市販のクリーニングキットのブロワーを使ってゴミをはき出してください。

万一、指紋などが付いているときは、綿棒で軽くふいてください。

CDについて

■CDの取り扱いかた

使用できるCD

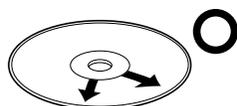
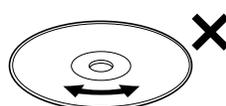
- 文字のある面に または 、 のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。
- ハートや花などの形をしたシェイプCD（特殊形状のCD）は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

CD-R/CD-RWについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズされているディスクに限りお楽しみいただけます。

- 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクが再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- 音楽用のCDフォーマット以外で記録したことのあるCD-RWディスクは、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。
- MP3、WMAには対応しておりません。

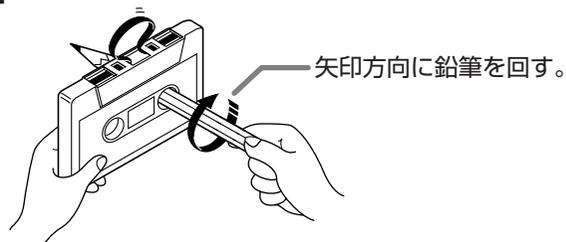
■CDのお手入れ

演奏する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。必ず内側から外側にふいてください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因となります。

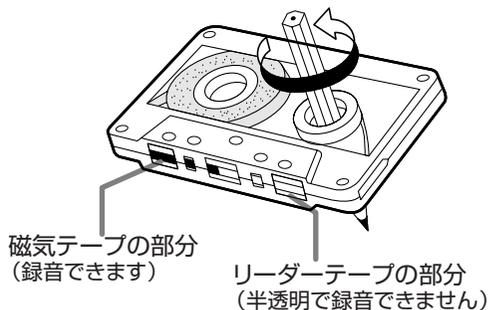
シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

カセットテープについて

■カセットテープの取り扱いかた

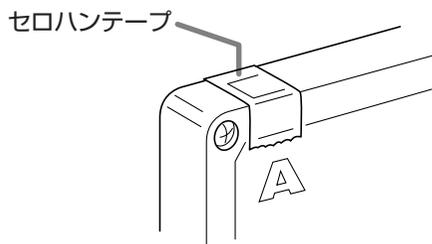
●テープに**たるみ**がある状態で本機にセットすると、本機に巻き込んだり故障の原因になります。使用する前に、図のようにしてテープの**たるみ**をとってください。

●C-120やC-150などの長時間テープは、使用しないでください。長い時間録音や再生ができて便利ですが、テープが伸びやすいため、機器内部に巻き込まれる原因となります。

リーダーテープについて

●テープの始まりと終わりには、録音できない部分(リーダーテープ)があります。録音する前に、リーダーテープ部分を巻き取っておきましょう。

■大切な録音を消さないために

カセットテープには誤消去防止用のツメ(タブ)がついています。

●ツメを折っておくと録音(消去)ができなくなり、誤って消してしまうことを防げます。

●再び録音したいときはツメの穴をセロハンテープなどでふさぎます。

お知らせ

・本機はノーマルポジション(TYPE I)対応です。ハイポジション(TYPE II)やメタルテープ(TYPEIV)には対応していません。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保　証　書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日·販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保　証　期　間

お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

CDポータブルシステム補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**または50ページの「**ビクターサービス窓口案内**」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　持込修理

45ページの「**故障かな?と思う前に**」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎（　　）　　－

別売のオプション品

・ヘッドホン：**HP-S35**
・マイクロホン：**MV-K4-B**
・接続コード：**CN-201A**（**AUX IN**端子の接続用）
　CN-203A
・CDレンズクリーナー：**CL-CDLA**

■別売のオプション品はお買い上げの販売店でお求めください。
■この製品の製造時期は本体の背面に表示されています。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの 「ご相談窓口」 にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌S.C.	(011) 898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川S.C.	(0166) 61-3659	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157) 25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154) 24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広S.S.	(0155) 24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北			
青森	青森S.C.	(017) 723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178) 44-4521	八戸市諏訪2-2-36
	弘前S.S.	(0172) 28-0165	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019) 637-0121	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197) 22-2773	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018) 824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186) 43-0980	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182) 32-8873	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022) 287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形S.C.	(023) 642-0279	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234) 26-7145	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024) 952-6331	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246) 27-7991	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
関東・甲信越			
群馬	前橋S.C.	(027) 255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第二棟1F
栃木	宇都宮S.C.	(028) 638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸S.C.	(029) 246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉S.C.	(043) 246-2588	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏S.C.	(04) 7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047) 353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷S.C.	(03) 5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	練馬S.C.	(03) 3993-7520	練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03) 3727-9385	大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426) 46-6914	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	CSセンター	(03) 3874-5231	台東区根岸5-4-3
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮S.C.	(048) 654-5241	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048) 553-5105	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜S.C.	(045) 651-0403	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎S.C.	(044) 975-1879	川崎市宮前区南平台3-2(第2石原ビル)
	平塚S.C.	(0463) 36-2160	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042) 776-2052	相模原市古淵3-7-4
	横浜T.C.	(046) 234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	甲府S.S.	(055) 237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	新潟S.C.	(025) 242-3431	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258) 24-8391	長岡市下下条2-1366-1
長野	長野S.C.	(026) 221-6583	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263) 25-9165	松本市庄内2-4-21
東海			
静岡	静岡S.C.	(054) 282-4141	静岡市中田本町62-31 中田ビル1階
	沼津S.S.	(055) 922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053) 421-3441	浜松市北島町785
愛知	名古屋S.C.	(0568) 25-3235	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564) 25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋S.S.	(0532) 64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜S.S.	(058) 274-1947	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593) 52-0841	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059) 229-7780	津市大字藤方485-18

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北陸			
富山	富山S.S.	(076) 425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076) 269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776) 53-6916	福井市西開発3-211
近畿			
滋賀	滋賀S.S.	(077) 582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都S.C.	(075) 644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山S.S.	(0773) 22-8664	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良S.C.	(0742) 35-0935	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺S.C.	(072) 254-2881	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073) 472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺S.S	(0739) 22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸S.C.	(078) 252-0562	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792) 34-3833	姫路市中地南町11-1
中国			
岡山	岡山S.C.	(086) 243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082) 243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(084) 931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(083) 973-3708	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834) 27-1331	周南市野上町2-35
島根	山陰ビクター販売（株） 松江S.C.	(0852) 31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	山陰ビクター販売（株） 鳥取S.S.	(0857) 23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高松S.C.	(087) 866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.S.	(088) 622-7387	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088) 882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山S.C.	(089) 923-0372	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895) 20-1018	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄			
福岡佐賀	福岡S.C.	(092) 431-1261	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942) 39-3495	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093) 921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎S.C.	(095) 862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956) 33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(097) 543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本S.C.	(096) 353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985) 24-5401	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982) 35-7077	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099) 282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098) 898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0704

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

主な仕様

<CDプレーヤー部>

形　式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1kHz
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ
周波数特性	20Hz〜20kHz

<チューナー部>

受信周波数	FM:76.0MHz〜108.0MHz AM:531kHz〜1,629kHz
アンテナ	FM:ロッドアンテナ AM:フェライトコアアンテナ

<テープレコーダー部>

トラック方式	コンパクトカセット・ステレオ
録音方式	交流バイアス
消去方式	マグネット消去
ヘッド	消去(マグネット) 録音・再生(ハードパーマロイ) コンビネーション×1
早巻時間	約150秒(C-60)
周波数範囲	ノーマルテープ:60Hz〜10000Hz(JEITA)

<共通部>

時計表示	24時間表示
スピーカー	9cm(丸形×2)、4Ω
入力端子	マイク(×1)、4mV 適合インピーダンス200Ω〜2kΩ AUX(ステレオミニ×1)、500mV 入力インピーダンス49kΩ
出力端子	ヘッドホン(ステレオミニ×1)、15mW/32Ω 適合インピーダンス16Ω〜1kΩ
実用最大出力	2W+2W(JEITA/AC)
電源	AC100V(50Hz/60Hz共用)
消費電力	電源入時:18W 電源切時:0.9W

電池持続時間(JEITA)

使用乾電池	FM録音時	CD再生時
単1形マンガン乾電池	約16時間	約10.5時間
単1形アルカリ乾電池	約20時間	約14時間

周囲の温度や使用状況、電池のメーカーや種類により、上記の電池持続時間と異なることがあります。

最大外形寸法	幅420mm×高さ178mm×奥行250mm
質量	約3.4kg(電池なし)

・JEITAは電子情報技術産業協会の規格による数値です。

モデル名、電源定格などは本体底面に表示してあります。
本機の仕様および外観は、改善のために予告なく変更することがあります。

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
50ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120－2828－17 携帯電話・ＰＨＳ・ＦＡＸなどからのご利用は ☎ (03)5684-9311 FAX(03)5684-9317 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7　ビクター本郷ビル

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

AV＆マルチメディアカンパニー
〒221-8528　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

0704NSMMODORI